3/12 福井

自民裏金

収支報告書訂正 90人に

「不明」多く 一層の説明も

自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件で、安倍派（清和政策研究会）と二階派（志帥会）に所属し、派閥からの寄付収入の不記載が発覚した国会議員ら100人のうち、11日までに90人が政治資金収支報告書を訂正した。ただ、さらなる訂正や説明が求められる内容も多く散見され、ずさんな資金管理が浮き彫りとなっている。

二階派は1月18日、安倍派は同31日に収支報告書訂正し、計98人の国会議員らへの支出不記載が明らかになった。また自民党が2月13日に公表したアンケートで、新たに安倍派2人の不記載が判明している。うち90人の政治団体の訂正された収支報告書が、総務省や都道府県の選挙管理委員会で公表されている。多くの議員は派閥からの寄付収入を追加で記載する訂正にとどまっているが、一部の議員は同時に支出も追記した。

5年間で3526万円の不記載があったとされる二階俊博元幹事長は、「書籍代」として約3470万円の支出を計上。国会で「何万冊購入したのか」などの批判を受け、購入した書籍名を明らかにし、選挙区外の行政、議会関係者に配布したと主張した。だが「とても配り切れる数ではない」と疑問の声も上がる。

安倍派の「5人組」と呼ばれる実力者も全員が訂正した。不記載額が2728万円の萩生田光一前政調会長と1019万円の高木毅前国対委員長は、支出の項目に「不明」と追記。1542万円の世耕弘成前参院幹事長も、金額や日付などが不明の「贈答品等代」の項目を追加。結果として支出総額や繰越額も不明とされている。いずれも国会で野党から追及を受けているが、岸田文雄首相は「数字が確定するまでの間、不明とすることはあり得る」との苦しい答弁を繰り返している。

不明な支出を計上した議員は他にもいる。2196万円の不記載があった塩井学衆院議員は、支出として「使途不明金」計1086万円を追加記載。安倍派会長も務めた故細田博之前衆院議長の政治団体も、使途不明金の支出を計292万円計上している。

「不明」ではないが、適切な支出か問われる内容も。1051万円が不記載だった松野博一前官房長官は「会合費」として3年で計約593万円の支出を計上。1件で30万円以上を飲食店に支払った項目もあった。

このほか長崎幸太郎山梨県知事は、19～22年にかけて二階派から1182万円の不記載があったと記者会見で説明したが、二階派の収支報告書では長崎氏への支出は記載されていない。

不適切な訂正があった主な議員

議員名	訂正後に計上された支出の内容
二階俊博	「書籍代」として約3470万円 [不記載額・5年計／3526万円]
萩生田光一	金額・日付・内訳が「不明」の項目 [2728万円]
高木毅	金額・日付・内訳が「不明」の項目 [1019万円]
世耕弘成	「贈答品等代」として金額・日付が「不明」 [1542万円]
塩井学	「使途不明金」として計1086万円 [2196万円]
細田博之	「使途不明金」として計292万円 [※210万円]
松野博一	「会合費」として593万円 [1051万円]